

第28期中間事業報告書

[平成17年4月1日から平成17年9月30日まで]



中京医薬品の国際貢献活動「ぎずなASSIST」

(左)

バングラディッシュで活動する現地NGOに社員も同行。保健活動や教育支援活動の現状を直視することによって、ぎずなASSISTとしての支援に反映しています。

(右上)

ベトナムでは学校訪問や保健活動の支援とともに、マングローブの植林活動を継続的に行っています。3年前に植えたものが、人の背丈よりも大きく育ちました。

(右下)

スマトラ沖地震で被害の大きかったスリランカを訪問。避難生活を続ける子どもたちに折り紙を教えるなど、現地の人たちとふれあいながら私たちにできることを考えています。

※詳しくは8ページをご覧ください。

信頼と健康のマーク



株式会社 中京医薬品

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第28期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。当社グループは創業以来「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を経営理念に掲げ配置販売業を中心とした「お客様とのふれあい業」を標榜しトータルライフケアを推進してまいりました。お蔭様をもちまして、事業も順調に発展し、この理念も社会に受け入れられてきているものと確信いたしております。

今後は株主の皆様方との「ふれあい」を強化し、幅広くご支持いただける「株主づくり」に努めることこそが、当社グループ発展の礎と強く認識致しております。このような観点から株主の皆様への積極的な還元を努めて参りたいと考えております。

どうぞ末永くご支援ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

◎ 当中間期の概況

当中間期における我が国の経済は、原油高等の不安要因があるものの企業収益の改善とともに、個人消費の持ち直しや設備投資の増加が見られるなど、長い「踊り場」から抜け景気回復基調がやや鮮明になってまいりました。このような環境の中で当社グループは中核事業であります配置販売業をはじめとして一層の経営基盤の強化を図ってまいりました。当中間期におきましては、営業所の新規出店は2箇所にとどめ、経費節減、人材育成、さらに付加価値の高い商品開発に努め、顧客満足度の向上とともに、お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業をめざし、また新事業開発本部における生活流通、売水、環境の各事業においても安定した収益構造の構築を進め、業績も概ね順調に推移いたしました。

こうした取り組みにより当中間期における連結売上高は47億19百万円、経常利益は2億37百万円となりましたが、当中間期より減損会計基準を導入したため中間純損失は96百万円となりました。

◎ 通期の見通し

当社グループといたしましては、社会情勢、消費動向に左右されることのない安定した経営基盤の充実に努め、引き続き顧客満足度の向上とともに広く社会からご支持いただける存在を目指してまいります。

通期の連結業績予想は、売上高92億82百万円、経常利益4億62百万円、純利益11百万円を見込んでおります。



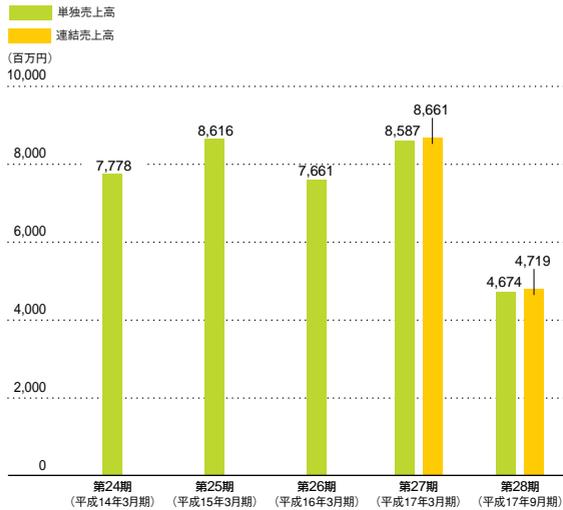
代表取締役社長

山田正行

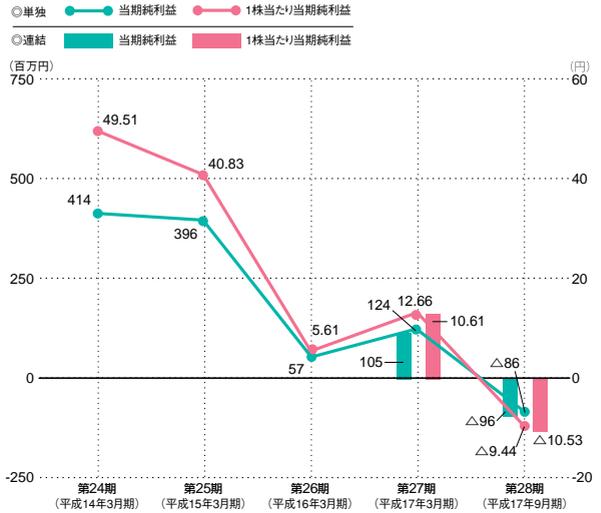
平成17年12月

決算ハイライト

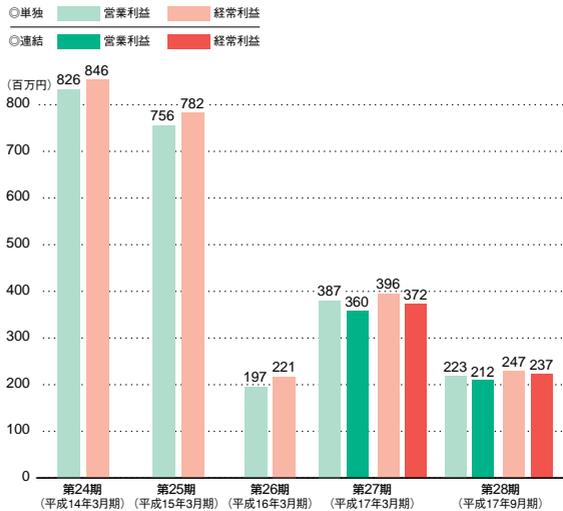
●売上高



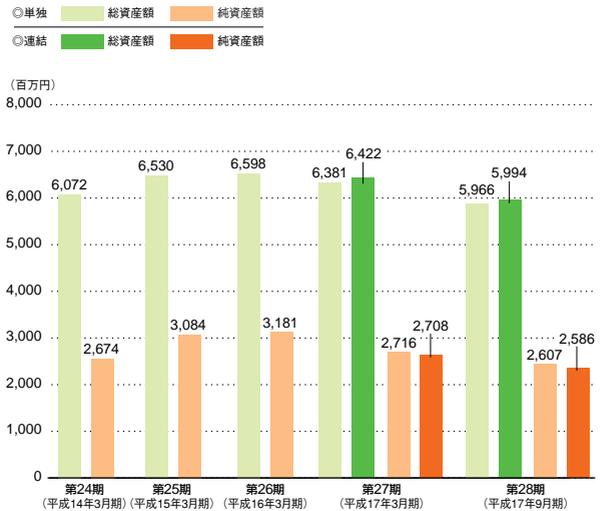
●当期純利益・1株当たり当期純利益



●営業利益／経常利益



●総資産額／純資産額



中間連結財務諸表（要旨）

● 中間連結貸借対照表

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前連結会計年度の 貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,089,573	3,276,292
現金及び預金	826,386	1,089,638
受取手形及び売掛金	828,334	771,693
有価証券	-	1,744
たな卸資産	1,154,387	1,109,809
繰延税金資産	155,902	127,993
その他	136,064	186,294
貸倒引当金	△11,501	△10,880
固定資産	2,904,467	3,145,404
○有形固定資産	1,937,495	2,222,330
建物及び構築物	566,984	665,561
土地	1,358,141	1,541,857
その他	12,369	14,911
○無形固定資産	42,714	42,205
営業権	15,492	18,007
その他	27,222	24,198
○投資その他の資産	924,256	880,868
投資有価証券	428,445	415,075
長期貸付金	29,620	56,200
前払年金費用	64,854	55,167
その他	494,826	423,412
貸倒引当金	△93,491	△68,987
繰延資産	800	1,066
社債発行費	800	1,066
資産合計	5,994,840	6,422,764

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前連結会計年度の 貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	2,749,127	2,902,632
支払手形及び買掛金	986,830	834,123
短期借入金	615,000	580,000
一年内返済予定長期借入金	153,087	161,093
一年内償還予定社債	69,000	419,000
未払金	51,255	120,445
未払費用	238,833	228,641
未払法人税等	159,097	111,624
前払金	61,787	149,703
賞与引当金	337,400	265,600
その他	76,836	32,402
固定負債	658,918	811,670
社債	221,500	256,000
長期借入金	297,785	372,724
繰延税金負債	22,527	72,906
退職給付引当金	110,273	103,208
その他	6,832	6,832
負債合計	3,408,045	3,714,303
(資本の部)		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,120	274,115
利益剰余金	2,123,292	2,247,335
その他有価証券評価差額金	193,972	185,161
為替換算調整勘定	5,865	8,370
自己株式	△541,405	△537,470
資本合計	2,586,794	2,708,461
負債及び資本合計	5,994,840	6,422,764

(単位：千円)

●中間連結損益計算書

科目	当中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前連結会計年度の 損益計算書 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)
売上高	4,719,099	8,661,362
売上原価	1,919,180	3,214,372
売上総利益	2,799,918	5,446,989
販売費及び一般管理費	2,587,858	5,086,128
営業利益	212,060	360,860
○営業外収益	40,442	77,273
受取利息	937	3,174
受取配当金	1,833	337
受取家賃	16,658	35,079
保険解約金	6,182	10,261
事故保険金	3,164	8,174
販売促進費	4,309	-
その他	7,359	20,248
○営業外費用	14,919	65,666
支払利息	10,077	30,808
支払家賃	-	6,640
支払手数料	3,654	10,166
借入金解約精算金	-	6,773
その他	1,187	11,278
経常利益	237,582	372,467
○特別利益	934	40,606
固定資産売却益	-	40,606
投資有価証券売却益	904	-
その他	30	-
○特別損失	269,103	163,685
店舗閉鎖損	-	64,588
役員退職慰労金	-	63,190
水害損失	-	17,979
減損損失	266,665	-
その他	2,438	17,927
税金等調整前中間(当期)純利益	△30,586	249,389
法人税、住民税及び事業税	150,549	196,152
法人税等調整額	△84,285	△51,955
中間(当期)純利益	△96,849	105,192

(単位：千円)

●中間連結剰余金計算書

科目	当中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前連結会計年度の 剰余金計算書 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	274,115	274,115
資本剰余金増加高	5	-
資本剰余金中間期末(期末)残高	274,120	274,115
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	2,247,335	2,190,999
利益剰余金増加高	-	105,192
当期純利益	-	105,192
利益剰余金減少高	124,042	48,857
中間純損失	96,849	-
配当金	23,010	48,755
役員賞与	4,183	-
自己株式処分差損	-	101
利益剰余金中間期末(期末)残高	2,123,292	2,247,335

(単位：千円)

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前連結会計年度の キャッシュ・フロー計算書 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,691	511,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,154	510,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459,385	△720,957
現金及び現金同等物の増減額	△256,216	309,635
現金及び現金同等物の期首残高	895,496	585,861
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	639,280	895,496

(単位：千円)

NEWS 1

テレビコマーシャルの放送エリアを拡大!

配置販売業のネットワークが全国的に展開されている中京医薬品では、営業所出店の多い地域を中心に、テレビコマーシャルによる拡販支援を行っています。当中間期に放映されたエリア、提供番組は以下のとおりです。

東海地方	中京テレビ「ザ・ワイド」	☑13:55-15:50 テレビ愛知「開運!なんでも鑑定団」	☒20:54-21:54
長野県	長野朝日放送「旅の香り時の遊び」	☒19:00-19:54	
宮崎県	宮崎放送「開運!なんでも鑑定団」	☒18:55-19:54	
大分県	大分放送「どっちの料理ショー」	☒18:55-19:49	
福岡県	九州朝日放送 スポットコマーシャル(月間20本程度)		

個別中間財務諸表（要旨）

●中間貸借対照表

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前事業年度の 貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	3,031,174	3,686,403	3,208,522
固定資産	2,934,738	3,188,536	3,172,270
有形固定資産	1,933,789	2,277,648	2,217,172
無形固定資産	42,469	38,651	41,909
投資その他の資産	958,478	872,237	913,188
繰延資産	800	2,412	1,066
資産合計	5,966,712	6,877,352	6,381,858

●中間損益計算書

科目	当中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年4月1日～平成16年9月30日)	前事業年度の 損益計算書 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)
売上高	4,674,150	4,393,590	8,587,902
売上原価	1,884,844	1,672,365	3,162,397
○売上総利益	2,789,305	2,721,224	5,425,504
販売費及び一般管理費	2,566,206	2,625,515	5,038,447
○営業利益	223,099	95,709	387,056
営業外収益	39,224	41,980	74,397
営業外費用	14,753	29,010	64,684
○経常利益	247,570	108,679	396,769
特別利益	904	39,686	40,606
特別損失	269,103	65,672	173,685
○税引前中間(当期)純利益	△20,628	82,693	263,690
○法人税、住民税及び事業税	150,479	94,473	194,896
○法人税等調整額	△84,285	△49,130	△55,880
○中間(当期)純利益	△86,822	37,350	124,674
○前期繰越利益	744,447	1,220,099	1,220,099
○中間(当期)未処分利益	657,625	1,257,373	1,321,640

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前事業年度の 貸借対照表 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	2,713,870	3,142,133	2,872,629
固定負債	645,383	1,113,934	792,637
負債合計	3,359,254	4,256,068	3,665,266
(資本の部)			
資本金	530,950	530,950	530,950
資本剰余金	274,120	274,115	274,115
利益剰余金	2,149,820	2,199,568	2,263,836
その他有価証券評価差額金	193,972	150,287	185,161
自己株式	△541,405	△533,636	△537,470
資本合計	2,607,458	2,621,283	2,716,592
負債及び資本合計	5,966,712	6,877,352	6,381,858

(単位：千円)

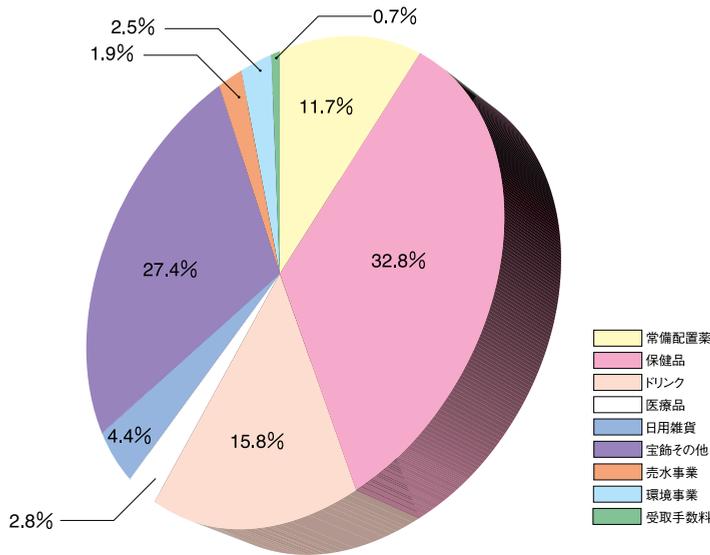
NEWS 2

アクアマジックの テレビコマーシャル、放映開始!!

新事業開発本部売水課で展開しているミネラルウォーターの宅配サービス「アクアマジック」のテレビコマーシャルが新しく制作され、7月から東海地方で放映されています。「ディスペンサー無料!」「宅配無料!」「アクアマジック!!」と、アクアマジックの特色を連呼する背景で、オフィスと家庭の場面の画像が次々に切り替わります。



商品別売上高構成比



株主優待(3月末現在の株主)平成17年3月の例

500株以上	3,000円相当分	紀州南高梅
1,000株以上	5,000円相当分	薬屋さんが処方した 美味しいカレー
5,000株以上	10,000円相当分	薬屋さんが処方した 美味しいカレー

の自社取扱商品



NEWS 3

平成17年4月以降、 2営業所を 新たに新設。

当中間期は配置販売業の新規出店は抑え気味で推移し、重点エリアである福岡県内に2営業所を新設。福岡県内の営業所は6箇所となり、平成17年9月30日現在での全国の営業所数は86箇所となりました。

八幡営業所
福岡県北九州市若松区片山1-6-3

宗像営業所
福岡県宗像市大字徳重638-2

スポーツイベントのサポートで企業イメージの向上を！ 2005トライアスロン伊良湖大会に特別協賛しました

9月11日(日)、愛知県渥美町の伊良湖畔一帯を会場に開催された「2005トライアスロン伊良湖大会」。中京医薬品は、その特別協賛企業として大会をサポートするとともに、企業PRを行いました。



- ◎大会概要
2005トライアスロン伊良湖大会
2005年9月11日(日)
午前8時競技スタート
- ◎開催場所
愛知県渥美郡渥美町・伊良湖畔
- ◎競技内容
Aタイプ スイム 2.0km、バイク62.7km、ラン20km
Bタイプ スイム 1.0km、バイク40.1km、ラン10km

この大会は渥美町の主催で毎年開催されており、今年で19回目を数えます。中京医薬品は初めて特別協賛企業となり、ゴールゲートをはじめ出場選手のゼッケン、選手・大会関係者あわせて2500名分のTシャツに社名表示をするなどして大会をサポート。さらに、コース沿いには「中京医薬品」、売水課のミネラルウォーター宅配サービスのブランド名「アクアマジック」を染め抜いた"のぼり"を各100本設置し、大会を盛り上げました。また会場内では、当社社員によるアクアマジックの無料飲料サービスや、「きずなASSIST」の活動状況を展

示するパネルや募金箱の設置などにより独自の企業PRも行いました。

当日は晴天に恵まれ、約1000名の参加選手がトライアスロンに挑みました。選手の中には片足をなくされた障害者の方もおられ、応援する私たちが勇気を与えられる場面もしばしば。今後も文化的な事業としての年末のチャリティーコンサートとともに、企業PRの柱としてこうしたスポーツイベントの協賛を続けていければと考えています。



世界の子供たちに健康と教育を
国際貢献活動を支援します

きずなASSIST活動報告

「世界の子供たちに健康と教育を」をテーマに、お客さまとともに中京医薬品が取り組む国際貢献活動です。



- (ベトナム)
- ① 言葉は通じなくても活動をともにする一体感が伝わる。
 - ② 訪問した小学校の児童たちと。
 - ③ 3年前に植えたマングロープ。もう大人の背丈より高く伸びている。(スリランカ)
 - ④ 避難先で暮らす家族と。
 - ⑤ 津波の直後に生まれた赤ちゃんを抱いて。

中京医薬品では、創業以来、「健康づくり、幸福づくり、人づくり」を経営理念に掲げ、パートナーであるお客さまとともに歩む企業でありたいと考えています。そして、お客さまとふれあいながら、健康づくりのお手伝いを通して幸福な暮らしとともに実現していこうという理念を広く世界という視野にまで広げたものが、私たち独自の国際貢献活動「きずなASSIST」です。「世界の子供たちに健康と教育を」をテーマに展開しているこの活動は、お客さまからの売上の0.1%を主財源に、単に資金援助をするのではなく、中京医薬品の社員

が現地に赴き、子どもたちとふれあいながら活動を育成するもので、企業としての国際交流活動と位置づけることができます。これまで、保健活動・教育活動の支援、学校建設への援助、マングロープの植林などを行ってきました。

そして、今年はスマトラ沖地震の津波被害が甚大だったスリランカと、マングロープの植林活動を継続的に展開しているベトナムに2人ずつ社員を派遣。4人それぞれが訪問先の国や地域の人たちとふれあい、心を通わせた経験が、これからの「きずなASSIST」の使命を果たす原動力となりました。

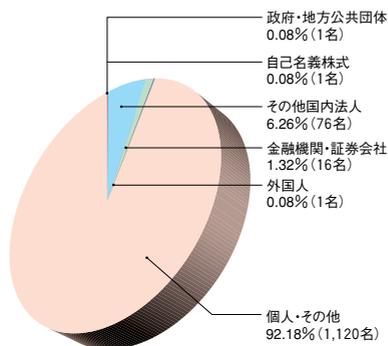
株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数 25,000,000株

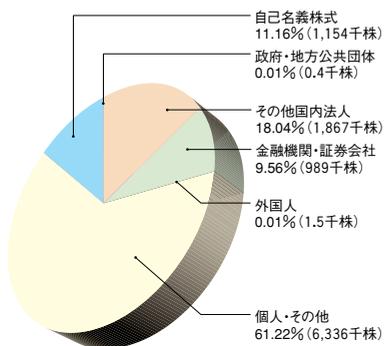
2. 発行済株式の総数 10,350,668株

3. 株主数 1,215名

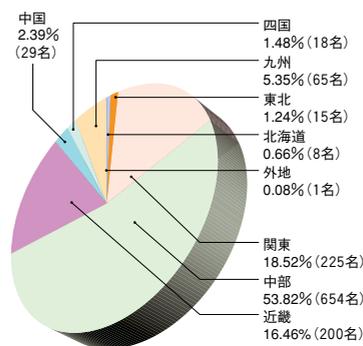
4. 所有者数別分布状況



5. 所有者株式数別分布状況



6. 地域別分布状況



7. 大株主(上位7名)

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
山田正行	1,246,760株	12.0%	-	-
山田幸男	1,029,306	9.9	-	-
有限会社ヤマショー	940,896	9.1	-	-
山田雄三	712,932	6.9	-	-
株式会社UFJ銀行	203,860	2.0	-	-
中京医薬品取引先持株会	168,337	1.6	-	-
山田重子	148,330	1.4	-	-

8. 株価の推移

期間	高値	安値	売買高
平成13年 (1月~12月)	1,150円 (2月)	570円 (9月)	543.0千株
平成14年 (1月~12月)	810円 (3月)	470円 (10月)	1,046.0千株
平成15年 (1月~12月)	625円 (1月)	450円 (12月)	510.5千株
平成16年 (1月~12月)	555円 (1月)	405円 (11月)	671.0千株
平成17年 (1月~ 9月)	510円 (3月)	440円 (1月)	456.0千株

(注) 当社は自己株式 1,154,853株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株主メモ

- 決算期日 / 毎年3月31日
定時株主総会開催時期 / 毎年6月
基準日 / 毎年3月31日
(その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日)
利益配当金受領株主確定日 / 毎年3月31日
(なお、中間配当を行うときの中間配当金受領株主確定日は9月30日)
名義書換代理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 / 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
TEL052-262-1520 (代表)
同取次所 / 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載新聞 / 日本経済新聞
1単元の株式の数 / 500株
株式店頭登録 / 1997年8月1日 銘柄コード4558
株主優待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様にご所有株式数に応じ、
自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。



ご所有株式数	自社取扱商品
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

株式の名義書換、配当金のお支払い並びに諸届出等のお問い合わせは、上記名義書換代理人の事務取扱場所並びに取次所でお取り扱いいたします。なお、「株式会社 証券保管振替機構」に預託されました株券についての諸届出及び手続等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

ホームページアドレス
<http://www.chukyoiyakuhin.co.jp>
(決算公告掲載)

